



Take it easy!

Electronic Performance Devices

Greddy

Dual グレッディ
デュアルスイッチング
コントローラー

Switching

Controller

instruction manual

取扱説明書

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、理解された上で正しくお使い下さい。

TRUST

TRUST SUPER TUNING SYSTEMS AIMED AT REAL COMPETITORS

はじめに

■ ご挨拶 ■

この度は、GReddy Dual Switching Contorollerをお買上げくださりまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書はよくお読みになり、内容を十分理解された上で実際にお使い下さいますようお願い申し上げます。

本取扱説明書は初めてお使い頂く方はもちろん、すでに、お使いになられた経験をお持ちの方にも、知識や経験を再認識する上でお役に立つものと考えております。

又、取扱説明書は、いつでも取り出して読めるように車内に保管されることをお勧め致します。

尚、本製品は競技専用部品です。公道では道路交通法等の法規に準じた走行が義務付けられています。

■ お客様と製品とのかかわり合い ■ 必ずお読み下さい

車とその取り扱い方法は、各自動車メーカーの、お客様に対しての安全と快適な生活に関する、不断の研究開発の結果として生み出されたものです。

弊社もまた、お客様に製品を安全にかつ快適にお使い頂くために、不断の努力をしておりますが、製品の持つ特性上、その性能や利便性と引き替えに、自動車メーカーの提供する安全が、確保できなくなる場合があります。

その様な場合に必要な、安全に対する配慮と判断は、すべてお客様ご自身の責任でお考え頂かななくてはなりません。

お客様のお車と弊社の製品を、安全にかつ快適にお使い頂くためにも、製品を取り付ける車の取扱説明書と合わせて、よくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

もくじ

■はじめに■

ご挨拶	P 1
お客様と製品とのかかわり合い	必ずお読み下さい P 1
もくじ	P 2
安全・取り扱いに関するご注意	必ずお読み下さい P 3～P 6

■本製品のご紹介■

ご使用前の確認	P 7
本製品の特徴	P 8
各部の名称と役割	P 9

■取り付け方法■

取り付けに必要な物と工具	P 1 0
取り付け時の注意	必ずお読み下さい P 1 0
スプライス、ギボシの使い方	P 1 1
配線場所について	P 1 2
配線取り付け手順	P 1 3
配線方法例（純正電動ファンの制御、電動ファンの増設方法） （Nosキット使用方法）	P 1 4～P 1 5 P 1 6
センサー取り付け方法（水温、ブースト圧） （油温、油圧、燃圧）	P 1 7 P 1 8

■本体設定（基本操作）■

モード早見表	P 1 9～P 2 0
各部の名称と機能	P 2 1
リアルタイム表示の切り替え方法	P 2 2
単位切り替え方法	P 2 2
ピーク値の表示/クリア方法	P 2 2

■本体設定（初期設定モード）■

センサー種別について	P 2 3
センサー種別設定方法	P 2 4
駆動条件設定（詳細）	P 2 5
回転信号パルス設定と駆動条件設定	P 2 6
車速パルス設定と駆動条件設定	P 2 7
NO.1 駆動方法設定	P 2 8
NO.2 駆動方法設定	P 2 9

■本体設定（照度設定モード）■

バックライトの明るさ調整	P 3 0
--------------	-------

■本体設定（表示・設定モード）■



ワーニングポイントの設定	P 3 1
NO.1 の作動ポイントの設定	P 3 2
NO.2 の作動ポイントの設定	P 3 3
取り付け後の作動確認	P 3 4
トラブルシューティング	P 3 5
アフターサービスについて	P 3 5
オプションパーツについて	P 3 6
取り付け設定例	P 3 7～P 3 8

製品を安全にお使い頂くには、正しい取り付けと正しい操作が不可欠です。

この取扱説明書、ならびに、取り付ける車両の取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

又、この取扱説明書に書かれていない必要な安全に対する配慮は、お客様ご自分の責任でお考え頂くこととなります。

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を、未然に防ぎ、本製品を安全にお使い頂くために、守って頂きたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよくお読みになり、十分に理解された上でお使い下さい。

 警告	もし、お守り頂かないと 生命の危機 、又は、 重傷を負う 人身事故につながる恐れのある注意事項です。
 注意	もし、お守り頂かないと、製品だけでなく 自動車や設備の破損・故障 につながる恐れのある注意事項です。
お願い	製品を正しくお使い頂くために、 必ず守って頂きたい 注意事項です。
重要	製品を正しくお使い頂くために、 知っておいて頂きたい 注意事項です。

警告

- ⚠️ 取り付け車両を扱う場合は、取り付け車両付属の取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全に運転、管理して下さい。自動車は、誤った扱い方をすると、思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。
- ⚠️ 本製品の取り付け作業を行う際は、必ずエンジンが冷えてから行って下さい。エンジン停止直後は、エンジンやエンジンの周りの配管は高温になっており、火傷等をする恐れがあり大変危険です。
- ⚠️ 必ず自動車の下に燃えやすい物が無い事を確認してから、停車、駐車して下さい。自動車の排気部分は高温になり、エンジンを動かしたまま枯れ草等の燃えやすい物の上に停車や駐車すると、火災の危険があります。
- ⚠️ 必要な時以外は、必ずエンジンを停止して下さい。マフラーのテールパイプからは、有毒な成分が含まれた排気ガスが排出され、締め切った車庫や倉庫の中等でエンジンを動かし続けると、一酸化炭素中毒の危険があります。エンジンを動かす時は、屋外、又は窓を開け、換気扇等を回し、新鮮な外気を取り入れられる場所で作業して下さい。
- ⚠️ 車の中で休憩や仮眠をとる時は、必ずエンジンを停止して下さい。エンジンが動いたまま停車、又は駐車して、休憩や仮眠をとると、排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険があります。
- ⚠️ 本製品の取り付け・配線作業は、本来、専門の教育を受けた整備士が行うべき作業です。専門外の方が作業されると、けがや火傷、車両火災を引き起こす可能性があり危険です。
- ⚠️ 取り付け箇所・取り付け方法は慎重に検討し、絶対に脱落しないようにして下さい。誤った取り付け箇所・取り付け方法は、脱落を招き、車両破損、車両火災の原因や運転の妨げになる可能性があります、大変危険です。
- ⚠️ ハンダゴテ・ニッパー等の工具を使用する場合は、工具付属の取扱説明書をよくお読みの上、注意事項等を守り正しくお使い下さい。これらの工具は誤った使い方をすると、けがや火傷等を引き起こす恐れがあります。
- ⚠️ 作業終了後は、必ず運転席の足元に何も無いことを確認して下さい。運転席の足元に空き缶や使用した工具等があると、ブレーキペダルの下にはさまり、ブレーキ操作が出来なくなる恐れがあり、大変危険です。
- ⚠️ 助手席のエアバック上に、本製品を取り付けしないで下さい。エアバック作動時に飛び出し、思わぬケガや二次災害を引き起こす原因となり大変危険です。
- ⚠️ 運転中は絶対に本製品の操作をしないで下さい。わき見運転は思わぬ人身事故等を引き起こす恐れがあります。

- ⚠ 車両を発進させる時は、必ず周りに何もない事を確認して下さい。不用意に発進させると、思わぬ人身や破損の事故等を引き起こす恐れがあります。
- ⚠ 本製品を取り付けた車両を、他の人に貸し出し、又は譲渡する場合は、必ず本製品が取り付けられていることを知らせ、取扱説明書を必ず渡して下さい

⚠ 注意

- ⚠ 本製品が直接駆動できる最大電流は10A (120W)です。必ず駆動する製品の電流値を確認した上でご使用下さい。電流値がわからない場合や 10A 以上になる場合 また、10A 以下でも 5分以上連続して駆動するような場合は必ず別売のリレーキットを取り付けて下さい。10A以上の電流が流れた場合、本製品が発熱し本製品だけでなく取り付け車両の電装系等まで破損させる恐れがあります。本製品の使用によって引き起こされたエンジンの破損、車両火災等の損害に関しては当社は一切の責任を負うことができません。
- ⚠ 事故防止の為、必ず付属のヒューズは取り付けして下さい。また、指定以外の容量のものは絶対に使用しないで下さい。本製品の故障の原因になります。本製品の使用によって引き起こされたエンジンの破損等の損害に関しては当社は一切の責任を負うことができません。
- ⚠ 誤配線、ショートには十分ご注意下さい。これらの取り付けミスは本製品だけでなく取り付け車両の電装系等まで破損させる恐れがありますによる損害に関して、当社は一切の責任を負うことは出来ません。
- ⚠ 本製品の取り付けには、車両の内外装、および電装系の加工、取り外し等の作業がともないます。当社は、これらの作業による物的損害の責任を負うことは出来ませんので、慎重に作業を進めて下さい。
- ⚠ 配線作業を行う時には、必ず、キーシリンダーからキーを抜き、バッテリーのマイナス端子を外して下さい。配線作業中に工具に電流が流れてショートする可能性があり危険です。
- ⚠ ハンダ付けにて配線を接続した場所は、必ず収縮チューブ、ビニールテープ等を巻き絶縁処理して下さい。
- ⚠ 本製品を分解、加工、改造しないで下さい。故障の原因となるだけでなく、保証の対象外となります。
- ⚠ 本製品は、湿気やほこりの多いカーペット下、直射日光のあたる場所やエンジンルーム、ヒーターの吹き出し口等、高温になる所、又その近くには取り付けしないで下さい。

- ⚠ 本製品は点火信号や無線等の電波ノイズの発生しやすい場所には設置しないで下さい。誤作動の原因となります。
- ⚠ 電波等によるノイズは、本製品の誤作動を引き起こす恐れがあります。本体バックパネルのOPTION部には、指定のもの以外差し込まないで下さい。本製品の破損、誤作動の原因となります。

— お 願 い —

・バッテリーのマイナス端子を外すと、メモリー機能を持った時計、オーディオ類、ナビゲーションシステム、および電動シート等記憶内容が消去される物があります。作業前に、車両、及び各製品の取扱説明書で確認した上で作業を始めて下さい。作業終了後、それぞれの取扱説明書に従って設定し直して下さい。

・本製品は、精密機械の為、落としたり強い衝撃を与えたりしないで下さい。

本製品をお買上げ後、7ページのパーツがあることを確認して下さい。新品をお買上げの時点で、保証書の製品番号と本体付属の製品番号が異なっている場合は、お手数ですがお買上げ店、又は弊社までご連絡下さい。

・本製品のお手入れの際は、乾いた布で拭いて下さい。汚れのひどい場合には、少量の水をつけ固く絞った布で拭いてください。ベンジン・シンナー類を使用すると、ケースや塗装が変質しますので絶対に使用しないで下さい。

・本製品及び、本取扱説明書は改良の為、予告なく仕様変更をする場合がありますのでご了承下さい。

・本製品の輸出、使用営業及び賃貸を禁じます。

For Sale and Use in Japan Only.

・本製品に関するご不明な点等がございましたら、弊社までお問い合わせ下さい。

本製品のご紹介

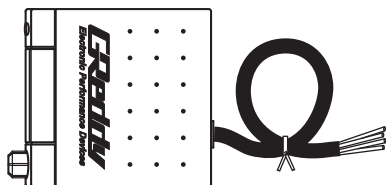
■ ご使用前の確認 ■

◎開封時、下記部品・個数に相違が無いをご確認下さい。

相違がある場合は、必ず装着前にお買い上げ店、又は弊社までご連絡下さい。

(住所・電話番号は最終ページに記載)

□ 部品構成 □



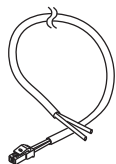
DSC本体
(ハーネス付き 1.0m) × 1



取扱説明書 × 1



保証書 × 1



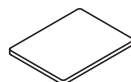
駆動ハーネス
(2.0m) × 1



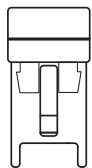
信号取り出しハーネス
(1.0m) × 1



平ギボシ × 4



両面テープ × 1



ヒューズホルダー × 1



ヒューズホルダー用
コネクタ × 1



ヒューズホルダー用
ステー × 1



ヒューズ (10A) × 2

本製品のご紹介

◎本製品は入力した最大3つの信号を元に最大2CHまで任意のポイントでアースへ導通させ対象物を自由に駆動する事ができるデジタルメーター付きコントローラーです。

応要次第で様々な物を動かす事が出来ます！

■本製品の特徴■

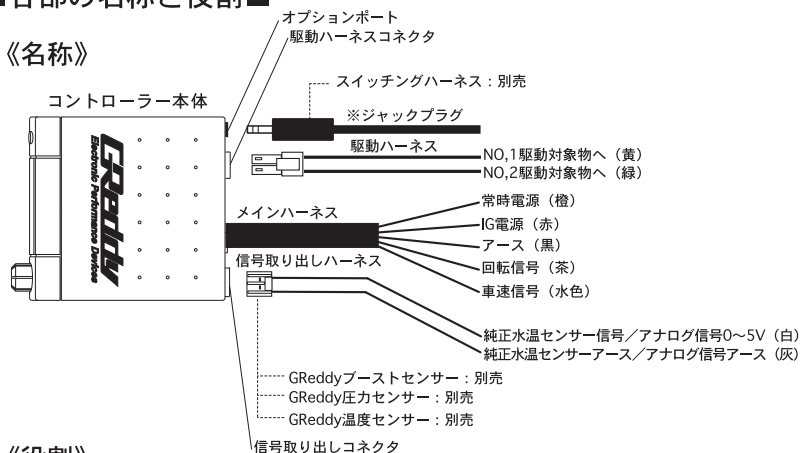
- 本製品は12Vバッテリー搭載のほとんどの車両にお取り付け可能な汎用品です。
- デジタルメーター付きで回転数,車速の他に接続したセンサーのリアルタイムな数値が確認できます。
- 回転数,車速の他に接続したセンサーの最大値が保存確認できるピークホールド機能を搭載。
- 通常オレンジ色にバックライトが点灯し、設定したポイントを超えた時、赤いバックライトとアラーム音で警告するワーニング機能を搭載。
- 入力した信号を元に2CHまでそれぞれ個別の設定ポイントで駆動させる事が可能。
- 頻繁に動作を繰り返さない様,ONポイント,OFFポイントをずらして設定できるループ制御。
- ウォーターズプレーなどで使用する場合、間欠動作でコントロールする事も出来ます。
- 設定値以上から動かすか、設定値以下から動かすか選択出来ます。
- 単位をMETRICとSAEから選択する事が出来ます。
- 純正の車速信号(2,4パルス)やエンジン回転(3,4,6気筒)のパルス信号を認識可能で車速条件及びエンジン回転条件として使用出来ます。
- 信号取り出しハーネスを使用すると車両のスロットル電圧やエアフロ電圧等のアナログ電圧(0~5V)を認識可能でセンサー条件として使用出来ます。
- 信号取り出しハーネスを使用すると各メーカーの純正水温センサー信号から温度を認識可能でセンサー条件として使用出来ます。
- 別売のGReddyブーストセンサー,油圧センサー,温度センサーのいずれかを使用する事でブースト圧,油圧,燃圧,水温,油温をセンサー条件として使用する事が出来ます。(取り付けには別途センサーハーネスが必要です)
- 別売のスイッチングハーネスと市販スイッチを使用することで手元のスイッチ操作で2CH同時に強制作動させることも出来ます。

- 例・純正の水温センサー信号を元に純正ファン制御用リレー信号に配線する事で任意の温度で純正電動ファンをコントロールする事ができます。
- ・他にも電動ファンを増設した場合やウォーターズプレー、オイルポンプ、燃料ポンプ、Nos、電球、LED等を任意のセンサーを元にコントロール可能です。
 - ・最大10A,120Wまでのソレノイドバルブ,ウォッシュャースプレー等はリレーを使用せずに直接駆動する事が可能。※(連続使用5分まで)
- ※電動ファンを増設して駆動する場合は大電力を必要とする為、別途リレーを使用して下さい。
※車速、回転数以外に接続できるセンサーは一系統のみです。

本製品のご紹介

■各部の名称と役割■

《名称》



《役割》

□メインハーネス□

コントローラー本体に電源を供給するハーネスです。

IG電源、常時電源、アースの他に作動させる条件の回転数と車速の配線があります。

□信号取り出しハーネス□

車両信号線へ接続して信号を取り出す為のハーネスです。

アナログ電圧 (0~5V) 又は純正水温センサーを認識する場合は配線を行います。

□信号取り出しコネクタ□

付属の信号取り出しハーネスを接続するとアナログ電圧 (0~5V) 又は純正水温センサー (各メーカー) の温度認識に対応できます。

代わりに別売のGRReddyセンサーを使用することでブースト圧、油圧、燃圧、水温、油温等を入力する事も出来ます。

□駆動ハーネス□

目的の対象物 (ソレノイド、モーター類、リレー、電球、LEDなど) をアース駆動する配線です。直接アースを落とす事で駆動できる物なら瞬間最大で10A (120W) まで対応出来ます。

(電動FANなど10A表記のモーターを駆動する場合、駆動する瞬間に10A以上の大電流が流れる可能性がございますので必ずリレーをご使用下さい。)

$$\text{電圧(V)} \times \text{抵抗(\Omega)} = \text{電流(A)}$$

$$\text{電圧(V)} \times \text{電流(A)} = \text{消費電力(W)}$$

□駆動ハーネスコネクタ□

駆動ハーネスを接続するコネクタです。

□オプションポート□

別売のスイッチングハーネスと市販スイッチを接続する事で手元のスイッチ操作で2CHを強制作動させる事が出来ます。

◇取り付けに必要な物と工具◇

- ・テスター（15V以上計れるもの） ・電工ペンチ等 ・ニッパー ・ギボシ等
- ・絶縁テープ又は熱収縮チューブ ・タイラップ ・ハンダ及びハンダゴテ
- ・車両の配線図（整備書など） ・延長用配線（必要な場合） ・リレー（必要な場合）
- ・+、-ドライバー ・スパナもしくはボックスレンチセット

⚠️ 取り付け時の注意

⚠️ 走行直後はエンジンや排気管など非常に高温となっております。
火傷の原因となりますので高温部付近に取り付け作業を行う際は、冷めた事を確認して取り掛かって下さい。

⚠️ 配線加工をする際はバッテリーマイナス端子を外して作業を行って下さい。
誤って工具等で切断しショートさせた場合には工具の破損もしくは車両の電装系を破損させる恐れがあります。

⚠️ 付属の配線には限りがあります。回転部分や可動部分などに注意し取り回しをよく検討した上で作業を始めて下さい。また、配線を延長する場合は同程度の容量を持った物で行って下さい。

⚠️ 車両火災事故防止のためバッテリー+近くに必ず適切なヒューズを取り付けて下さい。

⚠️ 本製品のみで直接アース駆動できる電流値は瞬間最大10A(120W)です。
必ず駆動する物の電流値を確認した上でご使用下さい。電流値が分からない場合や一瞬でも10A以上になる場合（モーターなど）、また、10A以下でも連続して5分以上大電流駆動するような場合は必ず別売のリレーキットをご使用下さい。

注) 本体に10A以上の電流が流れた際には発熱し本製品だけで無く取り付け車両の電装品を破損させる恐れがあります。これらによる部品破損や車両火災等の損害は当社は一切の責任を負う事が出来ませんのでご了承下さい。

注) バッテリー端子を外すと車両の時計、オーディオ、シートポジションメモリ等のメモリ機能がある車両はリセットされてしまう可能性がございます。

■ 本体固定の際の注意 ■

- ・車室外やエンジンルーム、カーマット下など埃や高温、多湿となる場所を避け、ヒーター吹き出し口や連続して直射日光のあたらない場所に取り付けて下さい。
- ・本体は、運転の妨げにならない位置に確実に取り付けて下さい。
- ・可動部分、回転部分やエアバック上に本製品を取り付けないで下さい。エアバック作動時に、飛び出し、怪我や2次災害を引き起こす原因となり大変危険です。
- ・配線は無理に挟んだりすると断線やショートを起こす可能性がございます。

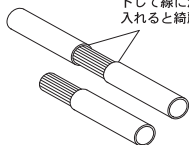
取り付け方法

■ スプライスの使い方（ハンダ付けの方法） ■

◎ 車両配線から電源や信号を取り出す場合、エレクトロタップは接触不良の原因になりますので以下の様な方法で確実な結線を行って下さい。

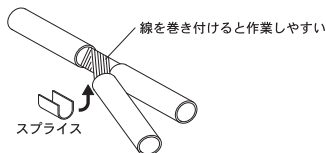
① 配線の被覆を剥く。

(中間の被覆を剥く場合)
ワイヤストリッパー等で両端をカットして線に沿って中央へカッターを入れると綺麗に剥ける

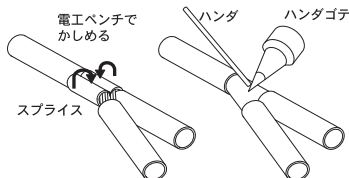


② スプライスをセットする。

※ハンダ付けの場合不要。
※収縮チューブの場合予め配線に通して置きます

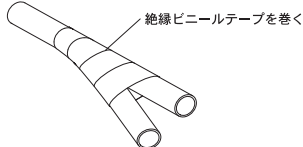


③ 電工ペンチを使用し配線を確実にかしめる。又はハンダ付けを行なう。



④ 絶縁テープを巻く。

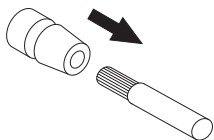
又は収縮チューブを縮める。
※突起部が出ているとショートする可能性があるので注意する



■ ギボシの使い方 ■

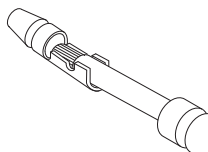
◎ ギボシを使う事で配線の取付け、取り外しが自由になります。ギボシは基本、電源や信号出力側がメスギボシ、受け側がオスギボシとなります。

① 配線の被覆を剥き、スリーブを通す。



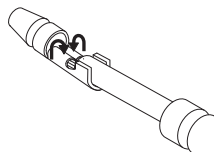
② 配線をギボシにセットする。

※芯線が細い場合は折り返すと良い

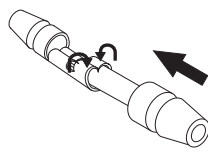


③ 電工ペンチを使用し、内側の圧着部を芯線とかしめる。

※かしめ後に芯線にハンダ付けを行うとより確実



④ 外側の圧着部を被覆の上からかしめ後スリーブをかぶせる



取り付け方法

■配線場所について■

□メインハーネス□

- 常時電源（橙）・・・バッテリープラス、ECU、キーシリンダ、オーディオなど
- IG電源（赤）・・・イグニッションON12V、キーシリンダ、ECU、シガー、オーディオなど
- アース（黒）・・・バッテリーマイナス、ECUパワー系アース、ボディアースなど
- 回転信号（茶）・・・タコメーター信号、IGF信号、別売:回転信号取り出しアダプタなど
- 車速（水）・・・ECU車速信号又は車速出力信号（ナビ用サービス線）など

□信号取り出しコネクタ□

- アナログ信号（白）・・・純正水温信号、スロットル信号、エアフロ信号（0～5v）など
- アナログ信号アース（灰）・・・水温アース、センサー系アース、アース、ボディアース
- GReddyブーストセンサー（別売）・・・サージタンク、インテークマニホールドなど
- GReddy圧力センサー（別売）・・・エンジンブロック油圧、油圧、油温センサーアタッチメント、フューエルデリバリーなど
- GReddy温度センサー（別売）・・・油圧油温センサーアタッチメント、ラジエーターホースアタッチメント、エンジンブロック、オイルパン、ミッション、デフなど

□駆動ハーネス□

- 駆動信号線No,1（黄）・・・目的の対象物（ソレノイド、モーター類、リレー、電球、LEDなど）のアース側 又はリレーのコイルマイナス側
- 駆動信号線No,2（緑）・・・目的の対象物（ソレノイド、モーター類、リレー、電球、LEDなど）のアース側 又はリレーのコイルマイナス側

□オプションポート□

- スイッチングハーネス（別売）・・・汎用スイッチを取り付け、オプションポートのジャック部へ差し込む事で2CH同時に強制作動させる事が出来ます。
（白線と黒線が導通している間作動します。）

重要

車速信号及び回転信号は必ずしも配線しなくても構いませんが、車速、回転数での設定はできなくなります。車種によっては回転信号、車速信号が取り出せない場合があります。

取り付け方法

■配線取り付け手順■

□メインハーネスの取り付け□

- ①配線加工作業に入る前に本体の取り付けや配線の取り回しを検討し配線を引き回します。
※回転部や可動部にはご注意ください
- ②テスター及び車両の整備書等を使用して、電源や車両の信号線位置を確認します。
常時電源線（イグニッションキーをON,OFFにしても、12Vとなる線）
イグニッション線（イグニッションキーをONにした時、12Vとなる線）
必要であれば整備書などで回転信号線及び車速信号線の線色を確認しておきます。
- ③配線加工を行う為、バッテリーのマイナス端子を取り外します。
- ④メインハーネスを車両へ接続します。
車両の常時電源線に橙線を配線します。
車両のイグニッションONで12Vの線に赤線を配線します。
メインハーネスのアース線（黒線）は車両アース線に接続するかボディアースへ接続します。

※ボディアースに接続する場合は接続する金属部分の塗装、サビをヤスリ等でしっかり落として接続します
- ⑤車両のエンジン回転信号線にメインハーネスの茶色線、車速信号に水色線を配線します。
※車両の整備書で車速信号位置及び回転信号位置を確認して車両へ配線して下さい。
- ⑥本体は取り付ける位置の汚れ、油分をよく拭き取って
付属の両面テープで固定します。

□信号取り出しハーネスの取り付け□

- ①付属の信号取り出しハーネスの場合、目的のECU信号部分（水温信号、スロットル、エアフロ等）へ配線します。

別売の温度センサー、ブーストセンサー、油圧センサーを使用する場合車両に接続します。
（詳しくはP17～18参照）
- ②黄色いコネクター（付属の信号取り出しハーネス、又は、別売のセンサーハーネス）を
本体まで導き信号取り出しコネクターへ接続します。

□駆動ハーネスの取り付け□

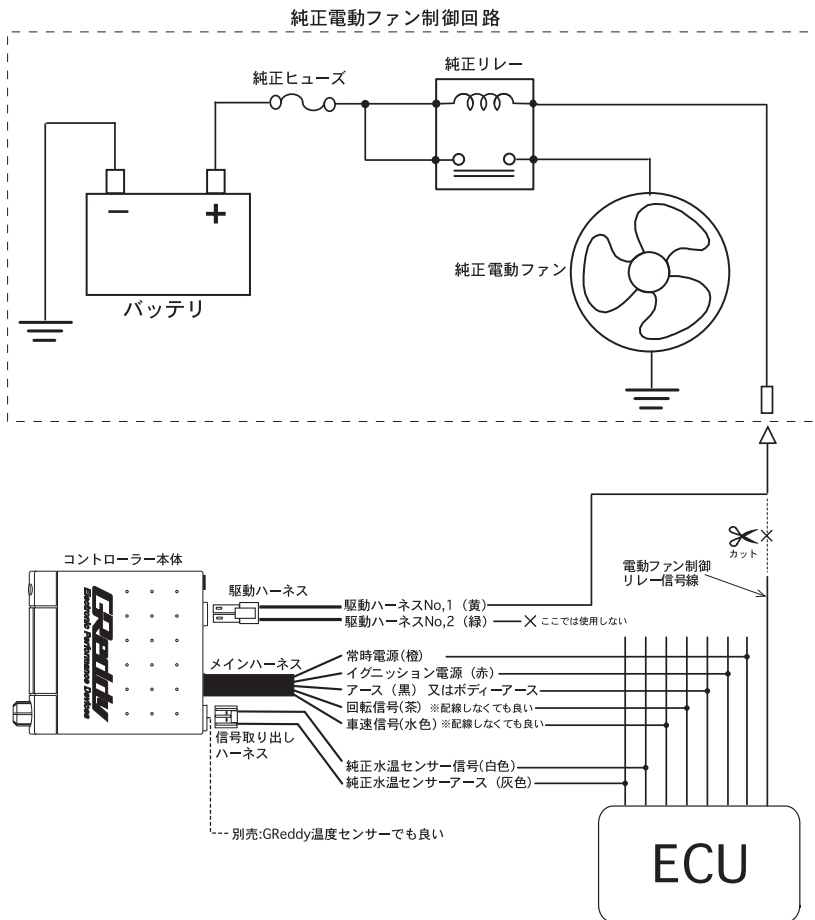
- ①本製品はアース駆動です。目的により異なりますがP14～15を参照し目的の対象物が動作するように配線を作成し、アース側又はリレーのコイルマイナス側に駆動ハーネスを繋ぎます。
※単体を直接駆動する場合必ず10A以内で使用することと駆動する製品のバッテリー+側に付属のヒューズを入れて下さい。
※純正ファン等を制御する場合、信号回路上にリレーがある事を整備書で確認して下さい。
※目的の対象物が10Aを超える場合や不明な場合はリレーを介して配線して下さい。

取り付け方法

■配線方法例（純正電動ファンの制御）■

◎純正の電動ファン制御信号、純正の水温センサー信号を利用した配線例

《純正電動FANの制御》



◎電動ファン信号が2系統有る車種の場合、温度設定をずらしメインとサブ2段階で制御が可能です。

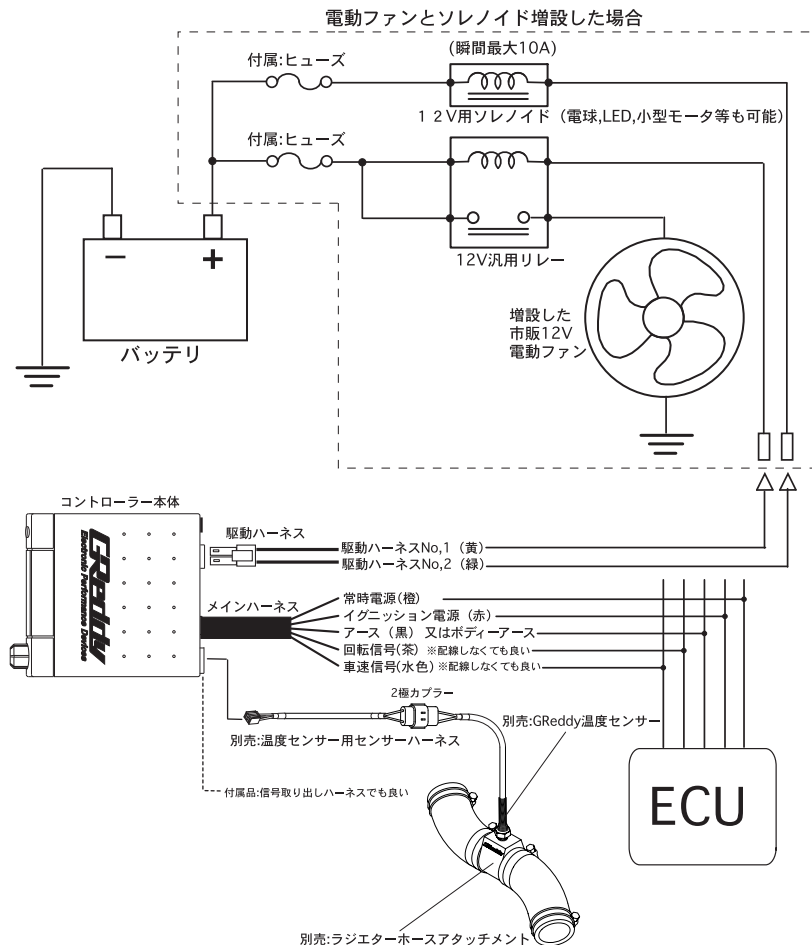
◎別売のGReddy温度センサーを使う事でより正確な温度制御が可能になります。

取り付け方法

■配線方法例（温度センサー、電動FAN、ソレノイドの増設）■

◎別売GReddy温度センサーを使用し、直接ソレノイドを駆動した場合と電動ファンにリレーを介して増設した場合の配線例

《温度センサー、電動FAN及びリレー,ソレノイドを増設した場合》



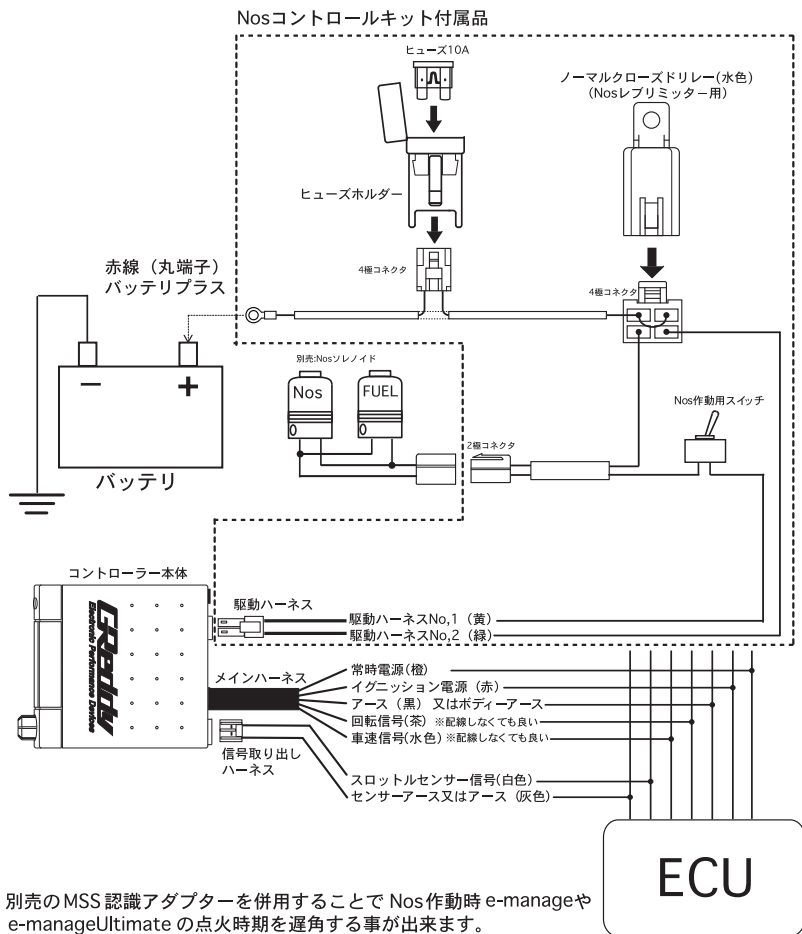
取り付け方法

■配線方法例（別売：Nosコントロールキット）■

◎Nos キットを使用する事で面倒な配線作業を簡素化出来ます。

又、Nosの作動ON,OFFや噴射開始から停止までコントロール出来ます。

《Nosコントロールキット》

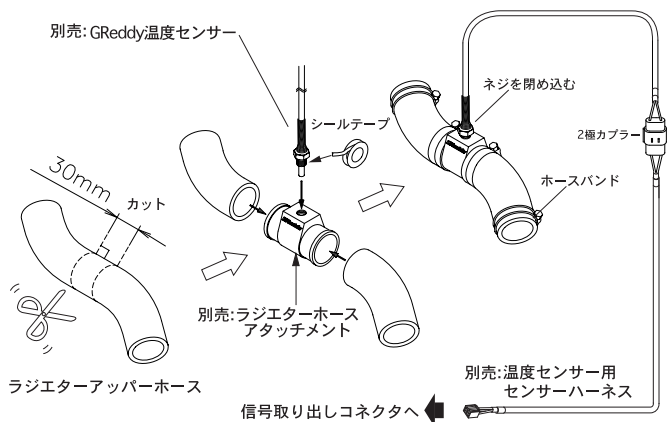


別売のMSS 認識アダプターを併用することでNos作動時 e-manageや e-manageUltimateの点火時期を遅角する事が出来ます。

取り付け方法

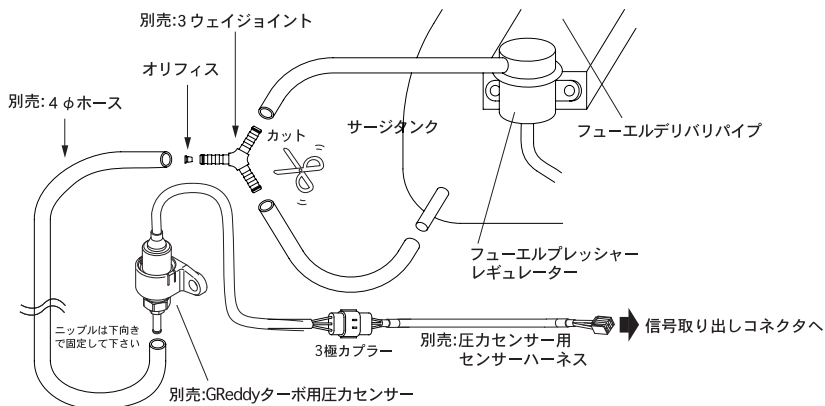
■センサー取り付け方法（水温） ■ラジエーター温度アップパーホースの場合

《温度センサー、ラジエーターホースアタッチメント使用例》



■センサー取り付け方法（ブースト圧） ■サージタンク圧の場合

《ブーストセンサー、3ウェイジョイント、オリフィス、4φホースの使用例》

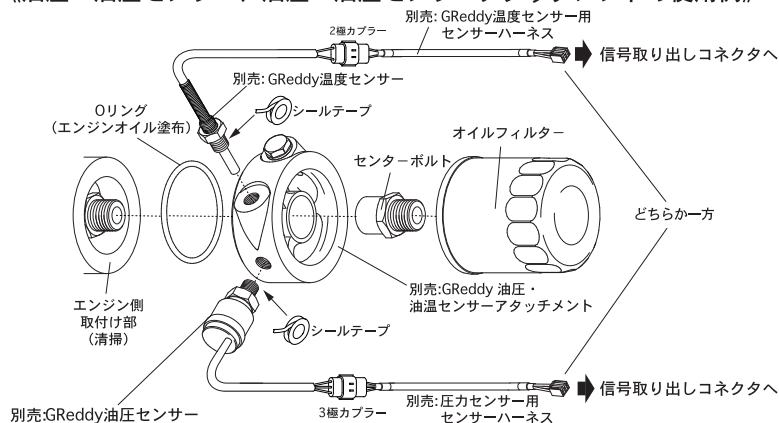


※各ホース取り付け部はホースバンド又はタイラップ等で抜け止めをして下さい。

取り付け方法

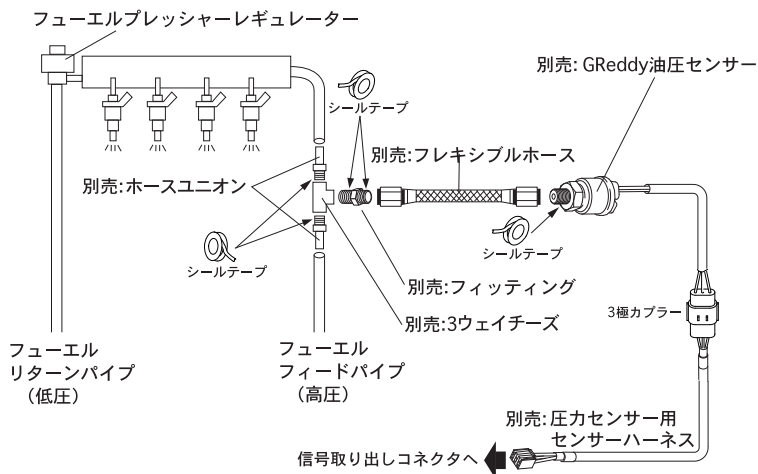
■センサー取り付け方法（油圧、油温） ■エンジンオイルの場合

《油圧・油温センサー、油圧・油温センサーアタッチメントの使用例》



■センサー取り付け方法（燃圧） ■フューエルラインの場合

《油圧センサー、3ウェイチズ、ホースユニオン使用例》

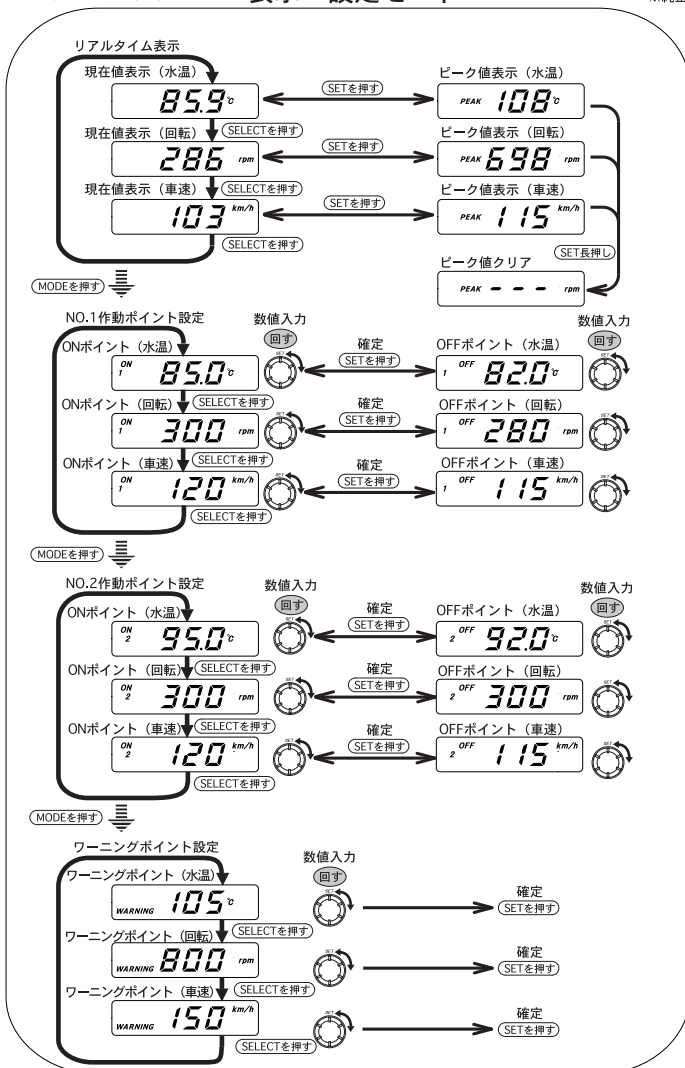


※センサーネジ部は1/8PTです。

本体設定（基本操作）

■モード早見表■ 表示・設定モード

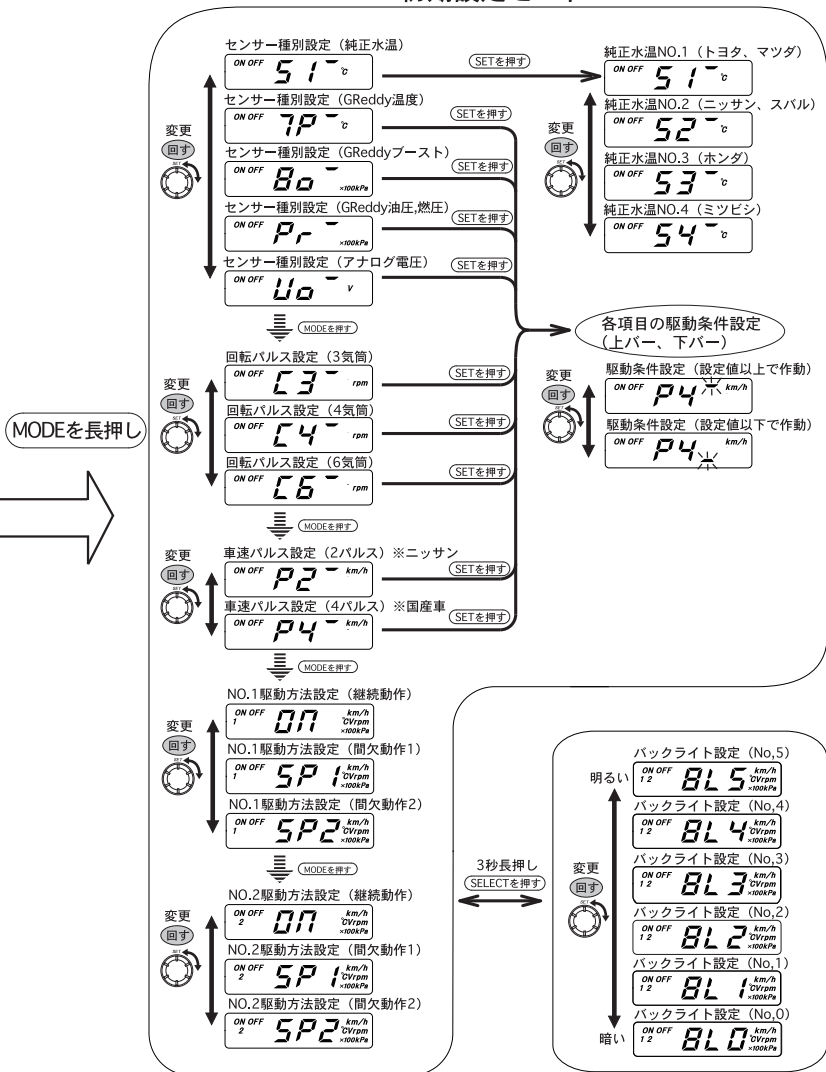
※純正水温の場合



本体設定（基本操作）

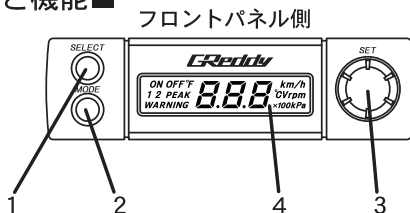
■モード早見表■

初期設定モード



本体設定（基本操作）

■各部の名称と機能■



□フロントパネル側□

1.SELECTスイッチ（表示切り替えボタン）

- ①回押し・・・センサー表示、回転数表示、車速表示が切り替わります。
- ②長押し・・・リアルタイム表示から5秒長押しでMETRIC単位からSAE単位へ切り替えが出来ます。
- ③長押し・・・初期設定モードから3秒長押しでバックライトの明るさ切り替える事が出来ます。

2.MODEスイッチ（モード及び項目切り替えボタン）

- ①回押し・・・各設定画面へ移動します。
設定値の変更中、変更をキャンセルできます。
- ②長押し・・・初期設定モードへ移行や表示・設定モードへ切り替える事が出来ます。

3.SETボリューム（数値変更及び確定）

- ①回す・・・数値及び設定値を変更できます。
右回しで数値が大きくなります 左回しで数値が小さくなります。
- ②押す・・・設定の変更を確定できます。
- ③長押し・・・ピーク値表示中1秒間長押しするとピーク値をクリアします。

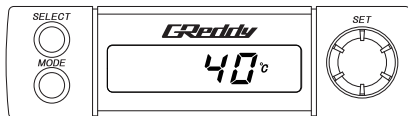
4.表示画面部（ディスプレイモニター）

- ・各項目のリアルタイムな数値確認や設定値を確認する事が出来ます。
バックライトは通常オレンジ色に点灯し、ワーニング作動時赤色で警告します。

本体設定（基本操作）

■ リアルタイム表示の切り替え方法 ■

- ①電源を入れるとリアルタイム表示から始まります。



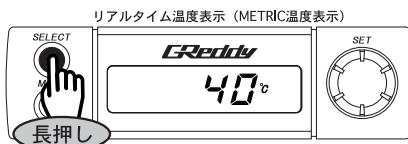
- ② SELECTを押す度にセンサー設定、回転数設定、車速設定表示の順に切り替わります。

※本製品の回転数表示は1/10の表示になります。



■ 単位の切り替え方法 ■

- ①電源を入れリアルタイム表示からSELECTスイッチを5秒間長押しすると、°Fが点灯しSAE単位に切り替えることができます。



- ②使用するセンサー種別を選択します。

※出荷時は°C,kPa,km/h (METRIC)に設定されています。
※°F,PSI,m/h(SAE)に設定した場合、×100kPaは点灯しません。
※もう一度リアルタイム表示から同じ操作で元に戻ります。



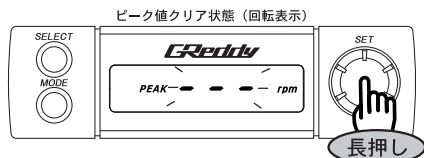
■ ピーク値の表示/クリア方法 ■

- ①電源を入れ目的のリアルタイム表示からSETボリュームを1回押すとピーク値が表示されます。



- ②ピーク値表示中にSETボリュームを1秒間長押しするとピーク値はクリアされ、リアルタイム表示に戻ります。

※4秒間何も操作しないとリアルタイム表示に戻ります



■ センサー種別について ■

◎信号入力コネクタに取り付けを行ったセンサーに対しセンサー種別設定を合わせる必要があります。下記を参照して次のページでセンサー種別設定の選択を行って下さい。

《純正水温センサーの場合》 Sensor

付属の信号取り出しハーネスを使用して純正ECU配線から水温信号を取得する場合、下記のメーカー設定番号「S1～S4」の中から車両メーカーに合ったものを選択します。

- トヨタ・・・・・・・・・・ S 1
- 日産・スバル・・・・・・・・ S 2
- ホンダ・・・・・・・・・・ S 3
- 三菱・・・・・・・・・・ S 4
- マツダ・・・・・・・・・・ S 1

《GReddy温度センサー（水温、油温）の場合》 TEMP

別売GReddy温度センサー及びハーネスを接続する場合「TP」を選択します。

《GReddyブーストセンサー(インマニ圧)の場合》 BOOST

別売GReddyブーストセンサー及びハーネスを接続する場合「Bo」を選択します。

《GReddy油圧センサー(油圧、燃圧)の場合》 Press

別売GReddy油圧センサー及びハーネスを接続する場合「Pr」を選択します。

《アナログ電圧(スロットル,エアフロ等)の場合》 Volt

信号取り出しハーネスを使用して
純正ECUなどから電圧（0～5V）を取得する場合「Vo」を選択します。

次のページへ進みます

重 要

車速、回転数以外に接続できるセンサーは上記のいずれか1CHです。

■センサー種別設定■

◎信号入力コネクタに接続するセンサーの種類に合わせて初期設定を行います。

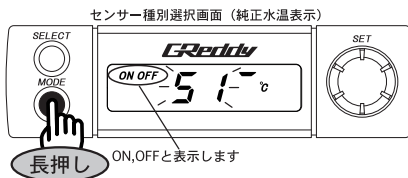
※純正水温センサーの場合 4 種類の中からセンサータイプを選択する必要があります。
前のページを参照して車両に合ったメーカーを選択して下さい。

【設定方法】例：GReddy 温度センサー選択の場合

① 本体に電源を入れたとリアルタイム表示にて起動します

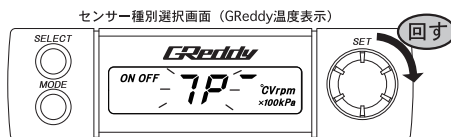


② 「MODE ボタン」を2秒間長押しするとセンサー初期設定モードに移行します（表示部ON,OFF が点灯）



③ SETボリュームを回すとセンサー種別が切り替わりますので使用するセンサー種別を選択して下さい。（詳しくはP23参照）

- 純正水温センサー・・・(S1,S2,S3,S4)
- GReddy温度センサー・・・・・・ (TP)
- GReddyブーストセンサー・・・・・・ (Bo)
- GReddy油圧センサー・・・・・・ (Pr)
- アナログ電圧・・・・・・ (Vo)



④ SETボリュームを押してセンサー種別を確定します。



次のページへ進みます

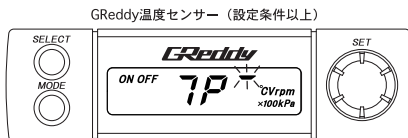
■ センサー駆動条件設定 ■

続いてセンサー設定の駆動条件を設定します。

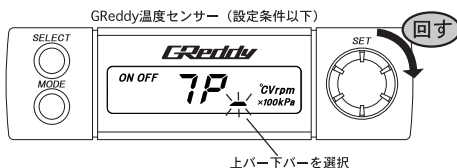
使用目的によって設定条件に達したら駆動するか設定条件以下で駆動するかを選択出来ます。

【設定方法】 例：GReddy温度センサー設定条件以下で作動の場合

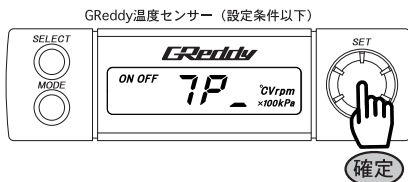
①センサー種別確定後、上バー又は下バーが点滅した状態です。



② センサーの駆動条件を設定します。
SETボリュームを回して
設定条件以上で作動させるか(上バー)
設定条件以下で作動させるか(下バー)
を選択して下さい。



③SETボリュームを押して確定します。



次のページへ進みます。

重要

- ・本製品はセンサー条件、回転条件、車速条件3つが作動状態（ON）にある時駆動します
- ・純正水温の場合駆動条件の設定を選択出来ません。（設定条件以上で作動で固定）
- ・電動ファンの場合設定条件以上（上バー）での作動が適当です。

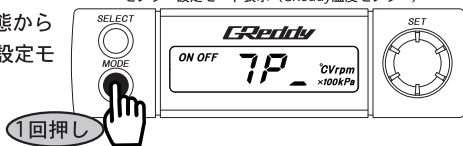
■回転信号パルス設定と駆動条件設定■

- ◎エンジン回転数を条件として使用する場合、車両の気筒数に合わせて初期設定を行います。
又、続いて駆動条件の選択を行います。

【設定方法】 例：6気筒、設定回転数以下で作動の場合

- ①センサー設定モードが終了した状態からMODEスイッチを一回押して回転数設定モード（C3,C4,C6）に切り替えます。

センサー設定モード表示（GReddy温度センサー）

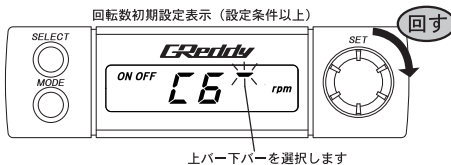


- ②SETボリュームを回すとC3,C4,C6と設定が切り替わるので、車両の気筒数に合わせてボリュームを押して確定します。

- 3気筒・・・C3
- 4気筒・・・C4
- 6気筒・・・C6



- ③確定後、回転数駆動条件に移行します。SETボリュームを回して駆動条件の設定条件以上で作動させるか（上バー）設定条件以下で作動させるか（下バー）から選択します。



- ④SETボリュームを押して確定します。



次のページへ進みます。

重要

・本製品の回転数表示は1/10の表示になります。例：111=1110rpm
回転信号は必ず取り出さなくても構いませんが、回転数での設定はできなくなります。その際は、必ず、上バー「設定条件以上で作動」に設定し、設定を「0」rpmにして下さい。

■車速パルス設定と駆動条件設定■

◎車速を条件として使用する場合、車両合わせてパルス数の初期設定を行います。
又、続いて駆動条件の選択を行います。

【設定方法】 例：その他国産車、設定車速以下で作動の場合

①回転数設定(C3～C6)が表示された状態からMODEスイッチを一回押して車速設定(P2,P4)表示に切り替えます。

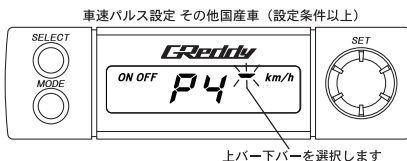


② SETボリュームを回すとP2、P4と設定が切り替わるので、車両のパルス数に合わせてSETボリュームを押して確定してください。

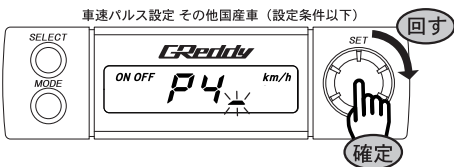
日産車 …… 2パルス (P2)
その他の国産車 …… 4パルス (P4)



③確定後、車速の駆動条件に移行します。SETボリュームを回して設定条件以上で作動させるか（上バー）設定条件以下で作動させるか（下バー）を選択します。



④SETボリュームを押して確定します。



次のページへ進みます。

重要

- ・一部（2パルス、4パルス以外）の車種は、車速表示はできません。
- ・車速信号は必ず取り出さなくても構いませんが、車速での設定はできなくなります。その際は、必ず、上バー「設定条件以上で作動」に設定し、設定を「0」km/hにして下さい。

本体設定（初期設定モード）

■No.1 駆動方法の設定■

◎ここでは3条件が揃いNO.1が作動する時、継続して駆動させるか、間欠的に駆動させるか（ウォータースプレーなど）駆動方法の選択が行えます。

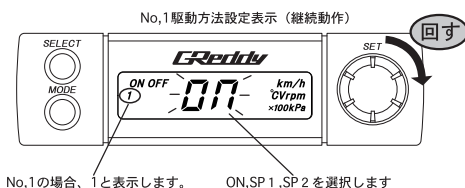
【設定方法】 例：No.1駆動線の継続動作の場合

①車速設定が表示されている状態から、MODEスイッチを1回押す事で1が点灯してNO.1駆動方法設定(ON,SP1,SP2)に移行します。



②SETボリュームを回すと駆動方法が切り替わるので、希望の動作に設定します。

- ON 継続動作
- SP1 間欠動作（1秒間ON, 1秒間OFF）
- SP2 間欠動作（1秒間ON, 3秒間OFF）



③ SETボリュームを押して確定します。



次のページへ進みます。



本体設定（初期設定モード）

■No.2 駆動方法の設定■

◎ここではNo.1同様、3条件が揃いNO.2が作動する時、継続して駆動させるか、間欠的に駆動させるか（ウォーターズプレーなど）駆動方法の選択が行えます。

※駆動ハーネスNo.2を配線していない場合、設定は不要です。

【設定方法】 例：No.2駆動線の継続動作の場合

① No.1の設定の状態から

MODEスイッチを1回押し、No.2に切り替えます。

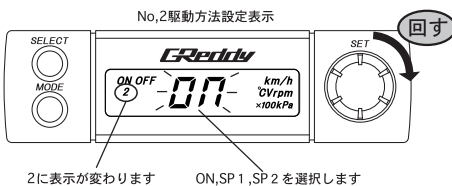


② SETボリュームを回すとNo.2駆動方法が切り替わるので希望の動作に設定します

ON 継続動作

SP1 間欠動作（1秒間ON, 1秒間OFF）

SP2 間欠動作（1秒間ON, 3秒間OFF）



③ SETボリュームを押して確定します。



次のページへ進みます。

本体設定（照度設定モード）

■バックライトの明るさ調整■

ここでは画面のバックライトの明るさ調整を行う事が出来ます。

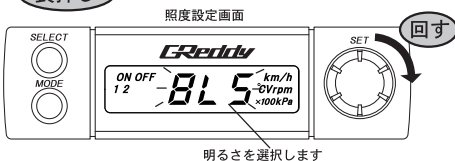
【設定方法】

- ① 初期設定モード（No,2駆動方法設定）表示からSELECTボタンを長押し（3秒）すると照度設定モードへ移行します。

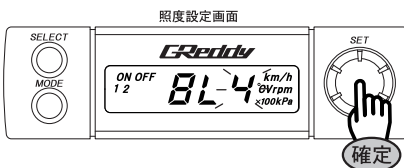


- ② SETボリュームを回すと数値と共に画面の明るさが変わります。

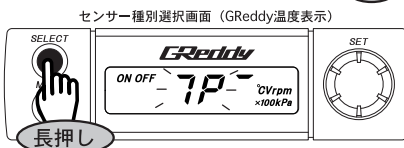
BL5（明るい）～BL0（暗い）



- ③ 希望の明るさを選択し、SETボリュームを押して確定します。



- ④ 照度設定モードからSELECTボタンを長押し（3秒）すると初期設定モード（センサー種別設定）へ戻ります。



- ⑤ 初期設定モードは終了後、MODEボタンを長押し（3秒）するとリアルタイム表示へ戻ります。



次のページへ進みます。

本体設定（表示・設定モード）

■ワーニングポイントの設定■

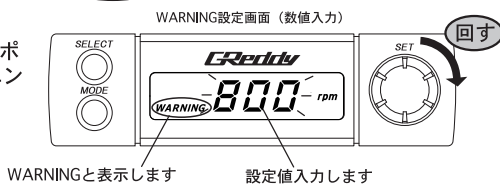
◎ここでは、センサー、回転数、車速にそれぞれワーニングポイントを設定します。設定したポイントになるとブザー音と共にバックライトで警告します。

【設定方法】

①リアルタイム表示からMODEスイッチを3回押して、ワーニング表示に切り替えます。（バックライト赤）



②SETボリュームを回すとワーニングポイントを設定出来ます。希望のワーニング値に設定して下さい。



③SETボリュームを押すと確定します。確定するとリアルタイム表示に自動で戻ります。



※表示中にSELECTスイッチを押すとセンサー表示、回転数表示、車速表示の順に切り替わりますので同様に各項目ごとにワーニング値を設定して下さい。



次のページへ進みます。

重要

ワーニング設定はCH別で設定出来ません。

油圧センサー設定（Pr）の場合ワーニング設定は設定圧力以下で作動します。

本体設定（表示・設定モード）

■NO.1の作動ポイントの設定■

◎駆動ハーネスのNo.1駆動信号線に対しセンサー、回転数、車速ごとに作動させたい設定値を入力してONポイント(動き始め)及びOFFポイント(動き終わり)を設定します。

【設定方法】 例：電動ファンが純正水温95度以上で動き始め90度まで下がったら作動停止

- ①リアルタイム表示（センサー、回転、車速）のいずれかの状態からMODEボタンを1回押すとNo.1の設定値が入力できます。



- ②5秒以内にSETボリュームを回してONポイントの設定値を入力します。SETボリュームを押すと確定しOFFポイントの設定へ移行します。



- ③OFFポイントになりましたらボリュームを回して設定値を入力します。SETボリュームを押すと確定します。



- ④確定後、自動でリアルタイム表示に戻ります。

- ⑤SELECTにてセンサー、回転数、車速選択して各項目も同様に設定を行って下さい。

次のページに進みます。

重要

- ・駆動条件上バー（設定条件以上で作動）を選択している場合、OFFポイントはONポイント以上に設定出来ません。
- ・駆動条件下バー（設定条件以下で作動）を選択している場合、OFFポイントはONポイント以下に設定出来ません。

本体設定（表示・設定モード）

■NO.2の作動ポイントの設定■

◎No.1の設定方法と同様で、駆動ハーネスのNo.2 駆動信号線に対しセンサー、回転数、車速ごとに作動させたい設定値を入力してONポイント（動き始め）及びOFFポイント（動き終わり）を設定します。※配線しない場合設定は不要です。

【設定方法】 例：電動ファンが純正水温95度以上で動き始め90度まで下がったら作動停止

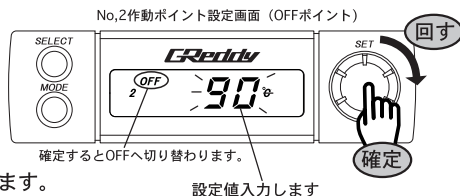
- ①リアルタイム表示（センサー、回転、車速）のいずれかの状態からMODEボタンを2回押すとNo.2の設定値が入力できます。



- ②5秒以内にSETボリュームを回してONポイントの設定値を入力します。SETボリュームを押すと確定しOFFポイントの設定へ移行します。



- ③OFFポイントになりましたらボリュームを回し設定値を入力します。SETボリュームを押すと確定します。



- ④確定後、自動でリアルタイム表示に戻ります。



- ⑤SELECTにてセンサー、回転数、車速選択して各項目も同様に設定を行って下さい。

次のページへ進みます。

重要

- ・駆動条件上バー（設定条件以上で作動）を選択している場合、OFFポイントはONポイント以上に設定出来ません。
- ・駆動条件下バー（設定条件以下で作動）を選択している場合、OFFポイントはONポイント以下に設定出来ません。

本体設定（表示・設定モード）

■取り付け後の作動確認■

以上で設定終了です。走行前に以下の内容をもう一度確認して作動確認に入ってください。

【確認手順】

①《走行前チェック》

- ・走行時に運転の支障は無い様本体及び配線がまとめられているか
- ・配線が挟まったり、引っ張られたり、巻き込まれる危険が無いか
- ・配線に接続間違いが無いか、対象物がしっかり固定されているか
- ・設定値に問題は無いか
- ・足下等に工具の置き忘れは無いか無いか
- ・外した内装の取り付けや、時計等元通りになっているか
- ・バッテリーマイナス端子も締め忘れが無いか

②以上の事が確認出来たら駆動ハーネスのコネクタ（白色）を本体に接続します。

③エンジンを始動してセンサー取り付け部等にオイル又は水漏れ等異常が無いか確認します。

④走行してエンジン回転数、車速、センサー条件通り実際に機能しているか確認します。

※作動しやすい作動ポイントにしておく確認しやすいです。

※各3つの作動条件を満たし作動状態にある場合、表示画面の1又は2が点滅し対象物が駆動されます。

⑤必要に応じてセッティングや調整を行います。

⑥走行後各部に問題ない事を確認します。

以上で作業終了です。

動作しない場合は次のページのトラブルシューティングへお進み下さい。

作業の方へのお願い

取り付け作業が終了しましたら、必ず、注意点など必要事項をご伝達の上
本取扱説明書と保証書を合わせて、お客様に返却して下さい。

重要

本製品は設定したセンサー条件、回転数条件、車速条件をすべて満たさないと作動しません。

トラブルシューティング

症 状	考えられる原因	対処方法
1. 作動しない	・ ヒューズが切れている。	・ 駆動する物の電流値が大きすぎる可能性があります。電流値が10Aを超える場合、リレーを取り付けて下さい。
	・ 駆動する物の電源がとれていない。	・ 駆動する物のプラス側にバッテリー電圧がかかっているか確認して下さい。
	・ 配線を間違えている。	・ 駆動する物のマイナス側が駆動ハーネスに配線されているか確認して下さい。
	・ すべての条件を満たしていない。(No, 1No, 2が点滅しない) ・ 作動条件の設定を間違っている。	・ センサー, 回転数, 車速すべてに設定を行って下さい。 ・ 作動条件を見直して下さい。
2. 回転数がずれて表示される	・ 気筒数の設定が間違っている。	・ P26を参照して気筒数の設定を行って下さい。
3. 車速がずれて表示される	・ パルス数の設定が間違っている。	・ P27を参照してパルス数の設定を行って下さい。

アフターサービスについて

【アフターサービスについて】

- ・ 本製品について、何かご不明な点がございましたら、弊社までご連絡下さい。
- ・ 付属されている保証書は、大切に保管して下さい。
- ・ Dual Switching Controller本体の製造番号は、当社の厳密な検査に合格した物である事を証明します。万一、ご購入年月日より1年以内に当社の責任と認められる故障を生じた場合は、保証書に本体裏のシリアルナンバーを記入の上、製品をご提示下されば無償修理を致します。
- ・ 保証期間経過後の修理、また、お客様の不注意により修理が必要になった場合でも、お気軽に弊社までご相談ください。

オプションパーツについて

Dual Switching Controller 用オプションパーツ

商品名	定価
・ Dual Switching Controller 用リレーキット	
・ Dual Switching Controller 用Nosコントロールキット	
・ GReddy温度センサー	¥ 7,000
・ 温度センサー用センサーハーネス	¥ 3,500
・ GReddyターボ用圧力センサー	¥ 12,000
・ GReddy油圧・燃圧計用圧力センサー	¥ 12,000
・ 圧力センサー用センサーハーネス	¥ 3,500
・ スイッチングハーネス	¥ 1,200

※オプションパーツのご購入の際は、Dual Switching Controllerをお買い上げになりました販売店様へご注文下さい。

使用者様へのお願い

本製品を取り付けた車両を、他の人に貸し出し、または譲渡する場合は、必ず本製品が取り付けられている事を知らせ、本取扱説明書は保証書と合わせて、必ずお渡し下さい。

※保証期間経過後の修理、また、不注意により修理が必要になった場合でも、弊社にご相談の上お買い上げになりました販売店様へご依頼下さい。

この度はGReddy Dual Switching Controllerをお買い上げ下さいまして誠に有り難うございます。

本製品を末永くご愛用頂くと共に

今後ともトラスト製品を宜しくお願い致します。

弊社は自動車業界発展を願っております。

株式会社トラスト 本社

〒289-1605 千葉県山武郡芝山町大台3115番地5

T E L .0479(77) 3000

弊社ホームページはwww.trust-power.comです。

取り付け設定例

『対象物：電動ファン』

純正水温センサー (トヨタ) 【S1】		6気筒(500rpm以上)			その他国産車(100km/h以下)			継続動作
センサー 条件	センサー 設定値	回転 パルス	回転 条件	回転設定値	車速 パルス	車速 条件	車速設定値	駆動方法
設定値 以上	ON 95℃ OFF 85℃	C6	設定値 以上	ON 50rpm OFF 50rpm	P4	設定値 以下	ON 100km/h OFF 100km/h	ON

『対象物：ウォーターズプレー』

GReddyブースト センサー 【Bo】		4気筒(3000rpm以上)			その他国産車(40km/h以上)			間欠動作
センサー 条件	センサー 設定値	回転 パルス	回転 条件	回転設定値	車速 パルス	車速 条件	車速設定値	駆動方法
設定値 以上	ON 1.00kPa OFF 1.00kPa	C4	設定値 以上	ON 300rpm OFF 300rpm	P4	設定値 以上	ON 40km/h OFF 40km/h	SP2

『対象物：燃料ポンプ』 ※フューエルデリバリーにセンサーを取り付けた場合

GReddy油圧/燃圧 センサー 【Pr】		3気筒(無条件)			その他国産車(無条件)			継続動作
センサー 条件	センサー 設定値	回転 パルス	回転 条件	回転設定値	車速 パルス	車速 条件	車速設定値	駆動方法
設定値 以下	ON 3.00kPa OFF 3.50kPa	C3	設定値 以上	ON 0rpm OFF 0rpm	P4	設定値 以上	ON 0km/h OFF 0km/h	ON

『対象物：オイルポンプ』 ※デフクーラー用オイルポンプの場合

GReddy温度センサー (油温) 【TP】		4気筒(無条件)			日産車(20km/h以上)			継続動作
センサー 条件	センサー 設定値	回転 パルス	回転 条件	回転設定値	車速 パルス	車速 条件	車速設定値	駆動方法
設定値 以上	ON 110℃ OFF 100℃	C4	設定値 以上	ON 0rpm OFF 0rpm	P2	設定値 以上	ON 20km/h OFF 20km/h	ON

『対象物：ワーニングランプ』 ※LEDの場合12V対応の抵抗を入れて下さい。

純正水温センサー (ニッサン) 【S2】		6気筒(7000rpm以上でON)			日産車(無条件)			間欠動作
センサー 条件	センサー 設定値	回転 パルス	回転 条件	回転設定値	車速 パルス	車速 条件	車速設定値	駆動方法
設定値 以上	ON 95℃ OFF 95℃	C6	設定値 以上	ON 700rpm OFF 700rpm	P2	設定値 以上	ON 0km/h OFF 0km/h	SP1

取り付け設定例（応用編）

『対象物：Nosソレノイド』※レブリミッターは2CH駆動時にリレーで1CHをカットします。

スロットル電圧 (90%以上ON) 【Vo】		6気筒(3000rpm以上でON 7000rpm以上でOFF)			その他国産車 (15km/h以上でON)			継続動作	
CH1	センサー 条件	センサー 設定値	回転 パルス	回転 条件	回転設定値	車速 パルス	車速 条件	車速設定値	駆動方法 (CH1)
	ON 4.00V OFF 4.00V								ON 300rpm OFF 300rpm
CH2	設定値 以上	センサー 設定値	C6	設定値 以上	回転設定値 (レブリミット)	P4	設定値 以上	車速設定値	駆動方法 (CH2)
	ON 4.00V OFF 4.00V	ON 700rpm OFF 700rpm			ON 15km/h OFF 15km/h			ON	

『対象物：2段階制御電動ファン』※電動ファン2個の場合

GReddy温度センサー (水温) 【TP】		4気筒(無条件でON)			その他国産車 (100km/h以下でON)			継続動作	
CH1	センサー 条件	センサー 設定値	回転 パルス	回転 条件	回転設定値	車速 パルス	車速 条件	車速設定値	駆動方法 (CH1)
	ON 85℃ OFF 80℃								ON 0rpm OFF 0rpm
CH2	設定値 以上	センサー 設定値	C4	設定値 以上	回転設定値 (レブリミット)	P4	設定値 以下	車速設定値	駆動方法 (CH2)
	ON 100℃ OFF 95℃	ON 0rpm OFF 0rpm			ON 100km/h OFF 100km/h			ON	

『対象物：NVCSソレノイド』※高回転遅角は2CH駆動時にリレーで1CHをカットします。

スロットル電圧 【Vo】		6気筒(4700rpm以上でON 7000rpm以上でOFF)			日産車(15km/h以上)			継続動作	
CH1	センサー 条件	センサー 設定値	回転 パルス	回転 条件	回転設定値	車速 パルス	車速 条件	車速設定値	駆動方法 (CH1)
	ON 1.00V OFF 1.00V								ON 470rpm OFF 470rpm
CH2	設定値 以上	センサー 設定値	C6	設定値 以上	回転設定値 (高回転OFF)	P2	設定値 以上	車速設定値	駆動方法 (CH2)
	ON 4.00V OFF 4.00V	ON 700rpm OFF 700rpm			ON 15km/h OFF 15km/h			ON	

※取り付け設定例はあくまで参考例です。実際の車両に合わせて調整を行って下さい。

TRUST

www.trust-power.com